カマダの家通信

vol.45
2022.4
春号

カマダの家からはじまる、住まいるSTORY

先日政府の地震調査委員会より今後30年以内に起きる可能性がある地震の長期評価が発表されました。

九州から沖縄にかけての日向灘と、南西諸島周辺で起きる地震について、M7クラスの地震が発生する確率は80%程度あると示されました。

この震源域で巨大地震が起きれば鹿児島でも被害が発生する事は想像に難くありません。

私共カマダの家が出来る事は、家族を守り災害に強い家を建てる事ですが、家具の置き方や食料・飲料などの備蓄、非常持ち出し品の準備、避難場所や経路の確認など防災意識を高く持ち、いざという時の為に備えはしておきたいものです。

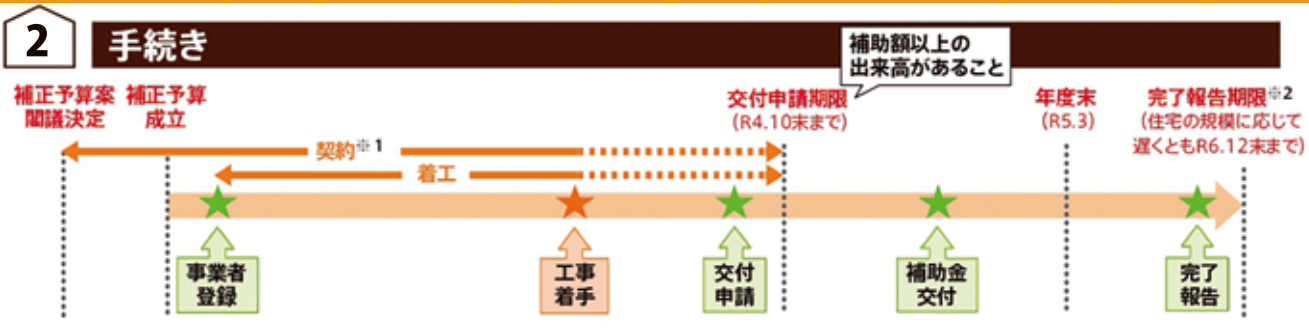
子育て世帯や若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図る制度

1 制度の目的

子育て支援及び2050年カーボンニュートラルの実現の観点から、**子育て世帯・若者夫婦世帯※による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得**や**住宅の省エネ改修等**に対して補助することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図るとともに、省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図る。

※子育て世帯：18歳未満の子を有する世帯　若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが39歳以下の世帯

2 手続き



※1 注文：工事請負契約、分譲：売買契約　※2 完了報告期限までに省エネ住宅の新築工事全体が完了していない場合は、補助金返還の対象